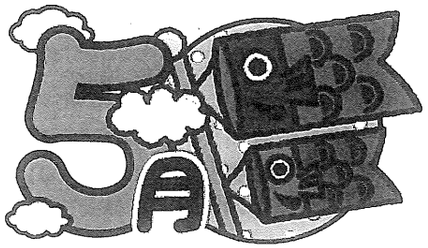
月刊 利根日石新聞
2009年11月1日創刊 令和6年5月号
第000176号
発行
利根日石株式会社 TEL0278-24-1635
本社・販売管理課 FAX0278-23-7980



なにかと慌しい4月も過ぎ、新緑が爽やかな季節がやってきましたね！お休みの日はご家族でおでかけになる方も多いのではないでしょうか？母の日、父の日も近いので、お父さん・お母さんを誘って出かけるのも素敵ですね！

日頃の感謝の気持ちを伝える日として馴染み深い母の日父の日ですが、母の日の起源は今から100年以上前。アメリカのアンナ・ジャービスという女性が尊敬する自身の母親の命日を偲ぶために教会で記念会を開いたことが始まりのようです。一方父の日は、その数年後に母の日の存在を知ったリリラ・ドッドという女性によって男手ひとつで6人きょうだいを育ててくれた父親への感謝を表す日を作ってほしいと牧師協会に嘆願があり、彼女の父親の誕生月である6月に作られました。

5月は　3日　憲法記念日
　　4日　みどりの日
　　5日　こどもの日
　　12日　母の日

また、最近では色々な家族の形があることから"ファミリーデー"という行事を取り入れる保育園・幼稚園も増えているようです。長い年月のなか、どのように形が変わっても家族を想う気持ちは変わることはないということですね。

『体型維持の秘訣』ある本から

『Nさんは、年齢を重ねるにつれ、お腹周りが気になってきました。一方で、同年代の同僚の一人は、体型が入社時と変わらずスリムなままです。体型維持の秘訣が気になったNさんは、その同僚に尋ねてみました。すると、日々意識して行なっていることを教えてくれたのです。それは生活の中で無理のない運動を取り入れる事でした。会社ではエレベーターの使用頻度を減らして、階段を使うようにしており、加えて毎晩10分の筋力トレーニングとストレッチは欠かさないと言います。同僚は、毎日の運動が習慣化すると、食事にも気を配るようになって間食が減り、節約にもつながっているとも言います。また、体重の変化や家計簿を記録し、継続のモチベーションにしているそうです。

この話を聞き《小さな行動でも、毎日コツコツ続ける事が大事だ》と再認識したNさんは、その日から軽い運動を始めました。数ヶ月後の現在、ベルトの穴を一つ内側に締められるようになったNさんです。』

うらやましいな。

私もお腹周りが気になっている今日この頃。以前健康診断の指導を受けた時に、菓子パンとあまーいコーヒーは控えましょうと言われ、菓子パンはなるべく調理パン、コーヒーは砂糖を控えめで飲むようにしていたら、体重は減らせたのにお腹のふくらみは　何かを始めようと思っていたら、1人バドミントンの動画を見てこれなら続けられるかな……？

お腹のふくらみもなくなれば、前に買っていたスボンも穿けるようになるだろうし、動きも軽やかになってつまずく事もなくなるだろう。　ちょっと頑張ってみようかな。　「継続は力なり」

今年度の電気代、じわり値上げへ

昨年1月に開始した電気代への補助金が、5月で終了となります。また太陽光発電などの再エネ賦課金がこの5月より値上げとなります。結果として、今年度の電気代は昨年に比べて値上げになりそうです。（残念ですが…）今回はこの2つの要因が電気代に与える影響をお知らせ致します。

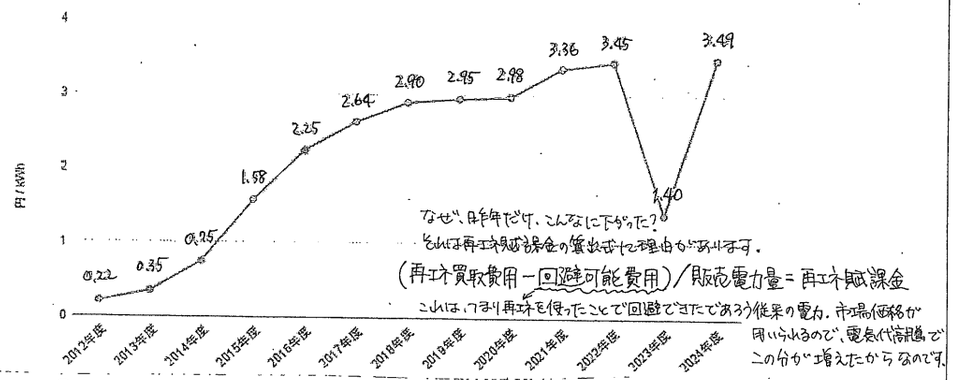
要因その① 補助金（電気・ガス価格激変緩和対策事業費補助金）

ロシアによるウクライナ侵攻によってLNGを中心に発電に必要な燃料価格が高騰、結果として電気（ガス）代が大幅な値上げになったことを受けて政府が昨年の1月使用分から、使用量に応じた補助金の支給を開始しました。（詳しくは昨年の3月号を参照ください）昨年の1月～8月分までは一般家庭や店舗など低圧電力の場合、1kWhあたり、7.0円、工場やビルなど高圧（特別高圧）電力は3.5円が支給されていました。9月からは半減して低圧が3.5円/kWh、高圧（特別高圧）は1.8円/kWhの支給となりました。それがこの5月はさらに1.8円/kWhと0.9円/kWhとなり、6月分から支給されなくなってしまいます。

要因その② 再エネ賦課金（再生可能エネルギー発電促進賦課金）

太陽光を始めとする再生可能エネルギーの促進を図るため、再エネで発電した電気を割高の単価で電力会社が買い取る原資にするため、2012年より電気代に含めて徴収されている賦課金です。太陽光などの普及に伴って、年々賦課金も上昇してきましたが、昨年は異常とも言える電気代の上昇で制度開始後、初めて減少に転じました。しかし、電気代が落ちついてきた事で、皮肉にも今年度は再び上昇します。（昨年度1.4円/kWh ⇒ 今年度3.49円/kWh）

再エネ賦課金の推移



例えば来月の（6月の）電気代を比べると、

① 補助金　2023年6月：▲7.0円/kWh ⇨ 2024年6月：0円　（7円/kWhの値上げ）

② 再エネ賦課金　2023年6月：1.4円/kWh ⇨ 2024年6月：3.49円/kWh（2.09円/kWhの値上げ）

合計で9.09円/kWhの値上げとなります。

一般家庭の場合（4人家族で400kWhを使った場合）、9.09円/kWh × 400kWh = 3,636円が昨年より増額することになります。

電気代は燃料の価格が反映される「燃料費調整額」による増減もありますが、LNGも原油も高止まりの状態が続いており、為替も円安が続いている為、しばらく下がることは無さそうです。

そこで、ご提案したいのが、ENEOSでんきです。簡単な手続きで、確かな安さをご提供できるENEOSでんきは全国で120万件以上のお客様にご利用頂いております。物価高の今だからこそ、電気代の節約をしませんか？

また、一昨年から新規受付を一時停止していた高圧（特別高圧）電力も、受け付けを再開致しました。工場や事務所でキュービクルをお持ちの事業者さまは無料でお見積り致します。お気軽にお声かけください。